

# 令和元年7月第4回人吉市議会臨時会会議録

令和元年7月25日 木曜日

---

## 1. 議事日程

令和元年7月25日 午前10時 開議

日程第1 会期の決定

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 議第59号 令和元年度人吉球磨地域交通体系整備特別会計補正予算（第1号）

---

---

## 2. 本日の会議に付した事件

- ・議事日程のとおり
- 
- 

## 3. 出席議員（18名）

1番	松村	太君
2番	徳川	禎郁君
3番	池田	芳隆君
4番	牛塚	孝浩君
5番	西	洋子君
6番	宮原	将志君
7番	塩見	寿子君
8番	高瀬	堅一君
9番	宮崎	保君
10番	平田	清吉君
11番	犬童	利夫君
12番	井上	光浩君
13番	豊永	貞夫君
14番	福屋	法晴君
15番	本村	令斗君
16番	田中	哲君
17番	大塚	則男君
18番	西	信八郎君

欠席議員 なし

---

4. 説明のため出席した者の職氏名

市	長	松	岡	隼	人	君					
副	市	長	松	田	知	良	君				
監	査	委	員	井	上	祐	太	君			
教	育	長	末	次	美	代	君				
総	務	部	長	迫	田	浩	二	君			
企	画	政	策	部	長	早	田	吉	秀	君	
市	民	部	長	丸	本	縁	君				
健	康	福	祉	部	長	告	吉	眞	二	郎	君
経	済	部	長	廣	田	五	浩	君			
建	設	部	長	山	下	正	純	君			
総	務	部	次	長	小	澤	洋	之	君		
財	政	課	長	植	木	安	博	君			
秘	書	課	長	永	田	勝	巳	君			
水	道	局	長	水	野	二	郎	君			
教	育	部	長	小	林	敏	郎	君			

---

5. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

局	長	山	本	繁	美	君		
次	長	栗	原	亨	君			
庶	務	係	長	井	上	京	子	君
書	記	青	木	康	徳	君		

---

---

午前10時 開会

○議長（西 信八郎君） おはようございます。出席議員が定足数に達しておりますので、本日の会議は成立いたしました。よって、これより令和元年7月第4回人吉市議会臨時会を開会いたします。

会議を開きます。

本日の議事は、議席に配付の議事日程によって進めます。

---

---

### 日程第1 会期の決定

○議長（西 信八郎君） それでは、これより議事に入ります。

日程第1、会期の決定を議題といたします。

これにつきましては本日、本会議開会前に議会運営委員会が開催され、会期日程等について協議がなされておりますので、これについて議会運営委員長の報告を求めます。（「議長、12番」と呼ぶ者あり）

12番。井上光浩議員。

○12番（井上光浩君）（登壇） 皆さん、こんにちは。令和元年7月第4回人吉市議会臨時会に当たりまして、本日、先ほど議会運営委員会を開き、会期日程等について協議をいたしておりますので、その結果を御報告いたします。

会期は本日1日限りとし、審議の方法につきましては、委員会付託を省略し、本会議において審議、採決することにいたしておりますので、よろしく願いいたします。

以上、報告を終わります。

○議長（西 信八郎君） 会期につきましては、ただいまの議会運営委員長報告どおり決定することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（西 信八郎君） 御異議なしと認めます。

よって、会期については議会運営委員長報告どおり決定いたしました。

---

---

### 日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（西 信八郎君） 次に、日程第2、会議録署名議員の指名をいたします。

署名議員に5番、西洋子議員、6番、宮原将志議員を指名いたします。

---

---

### 日程第3 議第59号

○議長（西 信八郎君） 次に、日程第3、議第59号を議題とし、直ちに執行部の説明を求めます。

○市長（松岡隼人君）（登壇） 皆様、おはようございます。本日は、第4回人吉市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては大変お忙しい中、御出席を賜り、まことにありがとうございます。

今回御提案しております議案につきまして、概要を説明します。

議第59号令和元年度人吉球磨地域交通体系整備特別会計補正予算案（第1号）は、くま川鉄道株式会社においてくま川鉄道の利用促進を図ることを目的に、国・県の補助事業を活用し、保有する全ての車両に自転車を積み込めるよう必要な改造を行う事業に対し補助金を交付するため、補正を行うものでございます。

歳入においては、人吉球磨地域交通体系整備基金からの繰り入れを行うこととし、歳出においては、事業費から国、県の補助額を除いた額を助成するものです。歳入歳出にそれぞれ675万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ677万9,000円とするものです。

議員各位におかれましては、慎重御審議の上、御協賛賜りますようお願い申し上げます。

○議長（西 信八郎君） ただいま説明がありました本件について質疑を行います。質疑はありませんか。（「議長、12番」と呼ぶ者あり）

12番。井上光浩議員。

○12番（井上光浩君） 私から少しお聞きをしておきたいと思います。

本日、説明をいただきましたけれども、少し気になる点がありました。三重県いなべ市というところに、私ども研修に行った経験がございます。三重県いなべ市はサイクリング等々に力を入れている市でございました。サイクルトレインというのを第三セクターの列車で行ったわけですが、その際に非常に興味深く思っておりました。

そこで、執行部にお聞きをいたしますが、いなべ市等々のサイクルトレインに取り組んでいる自治体にお聞きをされた経緯はあるのでしょうか。まず、1点お聞きしたいと思います。

○企画政策部長（早田吉秀君） まず、サイクルトレインの取り組みに対して、自治体のほうにつきましては、私どもでは直接視察等を行っておりません。ただ、知り得る限りの情報というところでは少し聞いておりますが、例えば肥薩おれんじ鉄道、あそこは芦北、八代、鹿児島と沿線等でございますけど、そのあたりのちょっと特異的な取り組みがあつていとか、あとは熊本電鉄、菊池経由ありますけど、ああいうところの独自の取り組みというところまでは把握をしておりますけれども、自治体でというところでは確認はできておりません。

以上でございます。（「議長、12番」と呼ぶ者あり）

○議長（西 信八郎君） 12番。井上光浩議員。

○12番（井上光浩君） やはり他の自治体の状況も把握をされたほうがいいんじゃないかなと思います。株式会社くま川鉄道さんですので、その話は、市長を含めお話をされたらろうとは思っておりますが、総体的にはこういった取り組みはいいと思います。

そこで、費用対効果を図るならば、例えば自転車を載せる場合に、その料金に上積みす

ることも視野に入っているのか。50円でも100円でも運賃に上乗せするというような考え、そういった話が協議されたのか、お聞きをしておきます。

○企画政策部長（早田吉秀君） 今回、サイクルトレインになりまして、自転車を持ち込む際の料金でございますけど、今回の補助事業を活用しましてサイクルトレインに改修するという場合には、国の指針により、自転車積み込み原則無料ということになっております。

ただ、以前、KUMA-1、KUMA-2の時代には、持ち込み料として別途200円を徴収していた経緯がございます。

以上でございます。（「議長、12番」と呼ぶ者あり）

○議長（西 信八郎君） 12番。井上光浩議員。

○12番（井上光浩君） もう2回ですので答弁は要りませんが、やはりそういった料金等についての説明はございませんでしたので、今後はそういったことについても協議をされたのならば、御報告をいただければと思います。

以上です。

○議長（西 信八郎君） ほかに、質疑はありませんか。（「議長、11番」と呼ぶ者あり）

11番。犬童利夫議員。

○11番（犬童利夫君） このことについては、全員協議会で説明を受けてきたところで理解はしているところでございますけれども、この取り組みについては非常にいい発想だろうと私も思っているところでございます。

しかし、観光列車、田園シンフォニーができた時点で、広域行政組合、他の市町村も含めていろいろ議論があったと思っております。ですから、今回、補正で出すのではなくて、当初から計画して、先ほども出ましたけれども、駅の改修とかを含めて当初で出すべきではないとか、理事会での議論とかそういうものがあつたならば教えていただきたいと思っております。私は、当初でこういうものは計画すべきじゃないかと思ったものですから、お尋ねいたします。

○企画政策部長（早田吉秀君） お答えいたします。

今回の国の補助事業は、今年度から拡充された制度でございます。もちろん、事前相談等もございましたが、実際にスケジュールが示されたのは、今年度に入ってからということになります。その事業化に向けて協議を進める中で、6月の中旬に取締役会、末に株主総会等の議論を経て、今回の補助申請等になったところでございます。また、そういった中で国の補助も採択のめどが立ったというところで、今回の補正予算の提案となりました。

また、通常の補助金の交付時期でございますが、例年、年度末、3月末に行っておりましたが、今回、整備に関する期間につきましては、夏休み期間、いわゆる通学に影響を及ぼさない時期に行いたいということが、1つ、スケジュール的な都合もございました。そういった場合に、年度末になりますと、会社の資金繰り等の関係もございましたので、適切なタイ

ミングが今回の7月の補助申請となったところでございます。

以上でございます。（「議長、11番」と呼ぶ者あり）

○議長（西 信八郎君） 11番。犬童利夫議員。

○11番（犬童利夫君） スケジュール的なこともあったということで理解はするところでございますけれども、もう1点お尋ねしたかったのは、先ほど井上議員からお尋ねがあった費用対効果も示されていませんし、そういうものも含んで計画的に、やはり当初から計画すべきじゃないかと思ったものですからお尋ねしたところです。

これで終わります。

○議長（西 信八郎君） ほかに質疑はありませんか。（「議長、14番」と呼ぶ者あり）

14番。福屋法晴議員。

○14番（福屋法晴君） 全協で、先ほど説明を受けたんですけれども、どうしても納得がいかないでお聞きしたいんですけど。サイクルトレインの補助申請に当たって、サイクルトレインは列車だけの改装で申請をされたのか、なぜ、乗り入れの場所についての申請はできなかったのか、この点についてお尋ねしたいと思います。

○企画政策部長（早田吉秀君） お答えいたします。

今回の国の観光庁の補助事業のメニューにつきましては、公共交通利用の環境の革新ということで、まずは多言語化だったりトイレの洋式化、キャッシュレス化といったものに合わせて、例えばスマートフォンの受信環境の確保、いわゆるインバウンド旅行客のための機能強化として、例えば大きい荷物を持った場合の移動確保だったりとかいうことの支援をするというのが今回の補助メニューでございます。その中に、移動そのものを楽しむ取り組みということで、新たな観光ニーズへの対応ということで、例えば観光列車とか観光バスもメニューに入っているところでございますが、その中でも、今回、サイクルトレインが新たに入ったものですから、そういった意味で移動手段だけを対象とした補助事業のメニューとなっております。

また、今回、議員からの御指摘の駅舎につきましては、今後いろんなニーズがあると思いますので、その中でいろいろと議論をしていきたいと思っております。

以上でございます。（「議長、14番」と呼ぶ者あり）

○議長（西 信八郎君） 14番。福屋法晴議員。

○14番（福屋法晴君） この事業に対して、何ら反対するわけではないです。非常にいいこと、インバウンドだからいいことだ、というのはわかるんですけど、やはり、その自治体、自治体に合った施設というものがあるわけですね。例えば人吉市は架橋であったり、例えば川村あたりは階段があったりとか、じゃあ、そこにインバウンド客が来たときに大人ばかりじゃないはずですよ、小さいお子さんから高齢者も来られると思うんですよ。そういう人が利用するに当たって、その利用を、列車の移動はできますけど、列車までの移動はどうや

ってするんですかという意味なんです。

だから、国、県の補助があるんですけど、そのときに、こういう自治体ではこういう状況だから、ここの改修ですよ、ハード事業に対しての補助はないのかとか、例えば、今すぐだったら、簡単に階段の横に1枚板を置いて、押して上がれるとか、そういうのに何百万円もかかるわけじゃないと思いますので、そのようなことも考えながら、今後は、補助金を貰うときにもお願いをしておきたいということを申し添えておきます。

以上です。

○議長（西 信八郎君） ほかに質疑ございませんか。（「議長、17番」と呼ぶ者あり）

17番。大塚則男議員。

○17番（大塚則男君） おはようございます。先ほど、全協で説明を受けたんですが、ちょっと私は気になったところがありましたので、お尋ねいたします。

基金を取り崩してきた経緯がありました。その中に赤字補填もあったと伺っております。今回、サイクルトレインで使うわけなんですけど、見ますと残高が9,600万円とずっと減ってくるわけなんです。これを、今後、じゃあくま川鉄道が赤字になったときに赤字補填をこれでしますよとおっしゃるかもしれませんが、赤字補填に対する取り組みはどういうふうにされるのか、まず1点、お尋ねします。

○企画政策部長（早田吉秀君） 大塚議員からのお尋ねでございますけれども、確かに基金残高は、今回取り崩して約9,000万円という形になっています。

今回、この基金につきましては、赤字補填ではなくて投資的な部分での基金取り崩しとなります。現在、整備費につきましては、各市町村の負担で行っているところでございます。今回の車両改装によって、通学が今後少なくなる見込みでもございますし、その補填としましても、観光客、インバウンド客等を取り込みながら、赤字解消まではいきませんけれども、そういった経営安定に向けて努力してまいりたいと思っております。

以上でございます。（「議長、17番」と呼ぶ者あり）

○議長（西 信八郎君） 17番。大塚則男議員。

○17番（大塚則男君） 各市町村、自治体が負担をしていくということなんですけど、今おっしゃっていただいたように生徒数も減ってくるという中で、各町村が本当に協力体制をずっと維持していけるのかなという、私は心配を持っているわけなんです、このことについては、

そういった中で、赤字補填は各市町村でもらうにしても、じゃあ新たに列車を大改造とか、あるいは新規に購入するとした場合に、この残高で果たして賄っていけるのか。そういったところに直面した場合には、どういった対応をされるのでしょうか。

○企画政策部長（早田吉秀君） お答えいたします。

今後、大規模な車両改造といいますか、車両購入と、そこはまだ、今後、現車両を引き続き、定期的な点検を行いながら続けていっていただきたいと思っております。ただ、車両購

入、大規模改修等ございましたら、その都度、取締役会の中でも議論していただきたいと思  
っているところがございます。

以上でございます。（「議長、17番」と呼ぶ者あり）

○議長（西 信八郎君） 17番。大塚則男議員。

○17番（大塚則男君） 非常に弱々しい答弁で心配になってきたんだらうと思うんですけど、  
実際、この基金では、将来、私は本当、不安を抱えております。先ほど質疑があつていま  
すように、観光客が本当にオーバーにふえていくんだつたらまだいいんですけど、生徒も減っ  
ていく中で、本当にくま川鉄道を維持していくのは、これこそ人吉球磨の市町村の自治体が  
一緒にならないとできませんので、そこを強く一致団結していただくようお願い  
しまして終わります。

○議長（西 信八郎君） ほかに質疑はありませんか。（「議長、15番」と呼ぶ者あり）

15番。本村令斗議員。

○15番（本村令斗君） 1点だけ質問したいんですけど、事故とかけがが起これらいいない  
ということちょっと考えてみたんですけど、割と乗り慣れている人はいいんですけど、初  
心者の方が自転車を列車に積んだときに、座った状態で持てたらいいんですけど、先ほど言  
ったみたいに固定するものは用意するとは言われたんですけど、そうではないときに、まだ  
乗ってすぐとかの立ったままの状態のときに列車が発車したりしたときは、転倒する心配を  
考えておかないといけないのかなと思っています。運転手の方が、自転車を持って立ったま  
まの方がいないのか、そういう方に配慮する必要があると思うんですけど、その辺の検討、  
話し合いはされているのかお伺いします。

○企画政策部長（早田吉秀君） お答えいたします。

まず、サイクルトレインの場合の運行につきましては、今回はハード面ですけれども、  
ソフト面につきましても、いろんな場面を想定して対応していくと聞いております。

以上でございます。（「議長、15番」と呼ぶ者あり）

○議長（西 信八郎君） 15番。本村令斗議員。

○15番（本村令斗君） その点をぜひ、いろいろ想定して、いろんな事故が起きないように想  
定して運営されるようにしていただきたいと思うということを申しておきます。

○議長（西 信八郎君） ほかにございませんか。（「議長、5番」と呼ぶ者あり）

5番。西洋子議員。

○5番（西 洋子君） 先ほど説明を受けましたけれども、改造案、改造の設計図面を見まし  
たが、改造の最終的なあれができるときに、市も一緒になって考えられたのか、くま川鉄道  
さん任せだったのかということをお尋ねしたいと思います。

○企画政策部長（早田吉秀君） お答えいたします。

もちろん改装の案ということはお聞きしておりました。最終的には取締役会での御決定

となっております。

以上でございます。（「議長、5番」と呼ぶ者あり）

○議長（西 信八郎君） 5番。西洋子議員。

○5番（西 洋子君） 先ほど、いきなり見せられて、それでここで急に議決してくださいみたいな形で、サイクルトレインの導入そのものは、私も大変賛成なんですけど、あれを見ると、どうしても危ないなと。観光列車、観光列車ということで、今、どこもそういうふうにはなっていますが、もともとくま川鉄道湯前線を、「住民の足」として残そうという運動があったわけですし、観光客だけが使う路線ではありません。子供もいればお年寄りもいらっしゃるわけです。その中でどこにでも自転車が持ち込まれるというあの図面、せっかく全部いじるなら、どこか1カ所にできなかったのかという疑問が残ったのと、それはそれで進んでいくんでしょうから、先ほど取締役会で最終的には、とおっしゃいましたが、安全器具のことです、フックを掛けるのがあるらしいとか、持ち込んで、とか。持ち込むということは、動くということですから、あまり安全にはならないのかなと。ハンドルが動かない程度のことかなと思います。ですから、そのときにも、くま川鉄道任せではなく、市として、そういう安全対策、安全器具に対しても介入されていかれるのかどうかをお尋ねしたいと思います。（「議長、5番」と呼ぶ者あり）

○議長（西 信八郎君） 5番。西洋子議員。

○5番（西 洋子君） 発言の訂正をお願いいたします。先ほど、「住民の足」と申し上げましたが、「住民の交通手段」に訂正をお願いしたいと思います。

○企画政策部長（早田吉秀君） お答えいたします。

今回の改装につきましては、御心配されるように安全面につきましては、ただ手で持つだけではなくて、いろんなケース等も考えて、簡易的なサイクルスタンド、つり革での固定ということも考えております。

そういった中で、実際、サイクルトレインとして運行する際に、安全面も十分に確認しながら、市としても、十分くま川鉄道と連携をとって安全度の向上に努めてまいりたいと思っています。

以上でございます。（「議長、5番」と呼ぶ者あり）

○議長（西 信八郎君） 5番。西洋子議員。

○5番（西 洋子君） ぜひとも試運転のときに、座る人と、それから自転車を持ち込む人とで検証をしていただくことをお願いしまして終わります。

○議長（西 信八郎君） ほかに質疑ありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

ほかにないようですので、以上で質疑を終了いたします。

それでは、採決いたします。本件について、原案のとおり決するに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（西 信八郎君） 御異議なしと認めます。

よって、議第59号は原案可決確定いたしました。

---

---

○議長（西 信八郎君） 以上で、本日の議事は全部終了いたしました。

これをもって、令和元年7月第4回人吉市議会臨時会を閉会いたします。

午前10時29分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

人吉市議会議長 西 信八郎

人吉市議会議員 西 洋子

人吉市議会議員 宮原 将志